

高い目標を持ち、感謝や謙虚さを忘れないこと

10月14日 追分公民館でオリンピックバルセロナ大会の柔道金メダリストの古賀稔彦さんを招き講演会を開催しました。講演の前に17年前のバルセロナ大会での活躍などを映像で紹介。期待されながらもメダルを取れなかった前回のソウル大会での雪辱を胸に臨んだ古賀選手でしたが、練習中の負傷で出場が危ぶまれ、痛み止めの注射を打ちながら獲得した金メダルに日本中が賞賛しました。

古賀さんは「高い目標を持って練習をすることが大切」と後輩に指導。青少年には元気にあいきつすることや、感謝や謙虚な気持ちを忘れないことを語っていました。



サインや記念撮影に気さくに応じる古賀さん(左端)。円内は講演風景。

消防車による追分地区防火パレード(写真上)と早来地区の事業所での消火訓練(同下)



秋の火災予防に向けて

10月15日に追分地区で火災予防のパレードが行われました。当初、追分小学校の鼓笛隊が演奏しながら行進する予定でしたが、インフルエンザ等の影響で中止。消防職員と団員が消防自動車で追分市街地区を回り、戸別巡回を実施して煙突や暖房設備などを点検しました。

また、21日には安平支署の職員と団員が早来地区の事業所を訪問し、従業員などに消火訓練などの体験をおして火災時の適切な対策を呼びかけていました。

J Aとまこまい広域が新米 80キ口を寄贈

10月16日 J Aとまこまい広域の役員が役場早来庁舎と教育委員会を訪れ、安平町に今年の新米 80キ口を寄贈しました。J A専務取締役の菊地弘さんは「今年は天候不順で多くの農産物に影響が出ました。今回持参した新米は胆振東部の農家の人が苦心して出来たものです。」と生産者の気持ちを語りました。地元の方が丹精込めたななつぼしという品種の「たんとう米」は11月中旬に学校給食センターで調理され子供たちに提供されます。



小学生の『型の部』での演技



一瞬の勝機と正確な動きで競う

第7回全北海道防具空手道選手権大会が10月18日に早来中学校体育館で開催され、型と防具組手の部などが行われました。顔や胸に防具をつけて競う組手では、積極的に前に出て一瞬の勝機を狙います。また、決められた動作を正確に行う型の部では、選手は頭から足の先まで神経を集中して演じ、安平町の子どもたちも日ごろの練習の成果を発揮し善戦しました。

安心・安全、確かな品質です

10月23日から25日の間、苫小牧駅前にあるプラザegaで第26回東胆振物産まつりが開催されました。3日間の客入り数は昨年比で減少したものの、初日は開催を心待ちにしていた特産品を求めの人で賑いました。

最終日は町長がタイムサービスの店長を務め、安心・安全な食材、特産品をPRし、地産地消にこだわる消費者の目を惹きつけていました。



メロンの漬物をPR